

「肺炎で入院した高齢者の退院転帰に及ぼす因子についての検討」

1. 研究の対象

2020年1月1日から2024年12月31日の間に東京都健康長寿医療センターに肺炎で入院となった65歳以上の高齢者

2. 研究の期間

研究倫理審査委員会承認日～2026年 3月 31日

3. 研究目的および意義

高齢者において肺炎は主要な死因の1つに挙げられるほど数多くみられる疾患です。肺炎が改善したにも関わらず、経口摂取困難、移動能力の低下、認知機能の低下などによるADL（日常生活動作）低下を認めることが多くみられます。その結果、自宅で生活していた方が退院困難となり、その調整のために入院日数の延長や、それに伴いせん妄などの精神症状の悪化のリスクとなりえます。退院調整が必要となる可能性が高ければ、入院してから早期に退院調整を開始することで、これらの悪化を防げる可能性があります。しかしながら、もともと居た場所に帰れるかどうかを入院時点で予想する確立した方法はありません。今回、退院調整の要否のリスク因子を調べることで、入院後の速やかな退院支援の導入や見通しの説明および入院延長に伴うリスクを防ぐことが可能になると考えられます。

そこで、当センターに肺炎で入院となった65歳以上の高齢者の入院時の認知機能評価スコア(DASC-21)、採血データ、栄養状態などを用いて、自宅から入院し自宅へ戻れた方と、自宅から入院し自宅以外へ退院となった方を対象に、退院調整の必要性と関連があるかどうかについて研究を行います。

4. 研究の方法 電子カルテから情報を収集させていただきます。

5. 研究に用いる情報の種類

年齢、性別、併存疾患（神経精神疾患、心疾患、糖尿病、消化器疾患、呼吸器疾患、貧血、慢性腎臓病）、老年症候群（便秘、慢性疼痛、低栄養、嚥下障害）、Body mass index、Barthel index（入院時、退院時）、入院時DASC-21、入院前食事形態、採血項目、入院前ならびに退院先居住場所

6. 研究組織

研究責任者：東京都健康長寿医療センター 総合内科・高齢診療科 岩切 理歌

研究分担者：東京都健康長寿医療センター 総合内科・高齢診療科 中山 智博
濱谷 広頌,

7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。しかしながら、すでに研究に使用されていた場合には、結果の削除など十分なご対応ができない場合がありますことをご了承ください。

研究責任者：

〒173-0015 東京都板橋区栄町 35 番 2 号

東京都健康長寿医療センター

総合内科・高齢診療科 岩切 理歌

電話 03-3964-1141 （平日 9：00～17：00）

-----以上